

アンケート記入方式による自己確立を目指した学生生活記録の作成

浅野 照雄*・福田 由美子*

(平成16年9月10日受理)

Recording of Individual Data of Students for Self Establishment

Teruo ASANO and Yumiko FUKUDA

(Received Sep. 10, 2004)

Abstract

In recently, few students represent attractive contents when they describe generally about their own past student life in the resume to find employment. This suggests that the students live without aim. So we offer the recording system that students describe self in a questionnaire form about the purpose to aim in their life for one year and evaluate self it after one year, and describe next new purpose to aim in the year.

In this recording system, even the students who do not so have a critical concern to the growth or self reform, can describe easily. And it is expected that this system gives the good effect to grow up their independence.

This report shows the results which we applied two times (one time every year) the recording system to the students in the Architectural Engineering Course, and suggests that teacher can give an appropriate advice to the students on basis of information obtained in this recording system and take many educational effects.

Key Words: questionnaire form, self-analysis, set the purpose, independence

1. ま え が き

学生の入学目的は専門技術の学習と人間形成である。これは、将来の就職を目的として大学に入学している事によると思われる。一方、社会から期待される技術者像は専門技術を習得したもの、および人間性豊かなもの、リーダーシップを有するもの、コミュニケーション能力を有するもの、プレゼンテーション能力を有するもの等などである。

ところで、学生の現状について見れば、近年、学生の主体性の欠如、指示待ち人間、など社会生活を営むための基礎的能力に欠けていることが言われている。特に、就職活動を行う4年次学生が入学や就職などの動機や自己表現、学生生活の総括について履歴書に記載する内容が極めて貧弱なものが少なくない。

本文は、学生が主体性を持ち、自己表現ができるように

なるための方法として、学生生活の記録をアンケート形式で学生自らが作成し、自己評価していくシステムを提案するものである。

2. アンケートの概要

アンケートの実施は2003年、2004年の2カ年で、2003年は、2年次生と3年次生、2004年は2、3、4年次生を対象にして、学期始めの4月～5月に行った。前年にアンケートを書いた学生にはそれを返却して、それを参考にして記入させた。本文は2カ年ともアンケートを行った学生(学生番号A501、A502)についてのものである。

アンケート項目は次の通りである。基本的には、前年度設定した目標に対する行動について分析し、この1年の勉強および勉強以外の活動についての目標設定を質問している。3年生、4年生には、その他に自信のある事、心配な

* 広島工業大学工学部建設工学科

事について、4年次生は更に、入学からの3年間の総括として、自分の成長した事について質問している。

なお、アンケートは2003年から実施したため、当時の3年次生は2年次の時は実施していなかった。そのため、前年の目標についての自己分析に関しては、2003年の3年次生の質問形式は2004年の3年次生に対するものと表現上で若干変えている。

以下に、アンケートの質問内容を記す。

2.1 2003年実施アンケートの内容

2.1.1 2年次生を対象

1. 入学して1年間の学生生活を振り返って次の質問に答えてください。

- (1) 入学直後に1年間の学生生活の送り方をどのように考えていましたか。
- (2) 実際この1年間の学生生活はどのようなものでしたか。

2. 2年生になってこの1年間どのような学生生活を送ることを目標としていますか。

- (1) 勉学について
- (2) 課外活動を含めて勉学以外の活動について

2.1.2 3年次生を対象

1. これまでの学生生活について、自己分析して下さい。

- (1) 大学入学時に掲げていた目標について
- (2) その目標に対して、どのように努力し（何を実行し）、どのような結果が得られたか（何が身についたか）

2. これからの1年間の行動目標、決意などを書いて下さい。

- (1) 教養・専門等の修学状況・態度について
 - (2) 課外活動も含めて勉学以外の活動について
3. 今、自信のある事を書いて下さい。
4. 今、心配な事、不安に思っていることがあったら書いて下さい。

2.2 2004年実施アンケートの内容

2.2.1 2年次生を対象

2003年実施のものと同じ。

2.2.2 3年次生を対象

1. これまでの学生生活について、自己分析して下さい。

- (1) 2年次に掲げていた目標に対して、どのように努力し、どのような結果が得られたか。
- (2) これからの1年間の行動目標、決意などを書いて下さい

- (1) 教養・専門等の修学状況・態度について
 - (2) 課外活動も含めて勉学以外の活動について
3. 今、自信のある事を書いて下さい。
4. 今、心配な事、不安に思っていることがあったら書いて下さい。

2.2.3 4年次生を対象

1. これまでの学生生活について、自己分析して下さい。
 - (1) 昨年度に掲げていた目標に対して、どのように努力し（何を実行し）、どのような結果が得られたか（何が身についたか）
 - (2) この3年間でまとめて、自分が成長したと思われることは何ですか。
2. これからの1年間の行動目標、決意などをしっかり書いて下さい
 - (1) 教養・専門等の修学について
 - (2) 課外活動も含めて勉学以外の活動について
3. 今、自信のある事を書いて下さい。
4. 今、心配な事、不安に思っていることがあったら書いて下さい。
5. このようなアンケートによって皆さんの自己確立に有効なのかをお聞きしたいと思います。意見を書いて下さい。

3. 期待される効果

アンケート形式で自由に学生が記入できる方式で行うことにより次のような効果が期待される。

学生に対しては以下のことが期待される。

- (1) 目的意識の高揚
- (2) 目標設定により行動の意識が鮮明化
- (3) 計画立案行為は計画能力の育成となる
- (4) 学生生活のガイドラインになる
- (5) 自己評価する事により、学生生活のあり方を考える習慣が身につく
- (6) 目標設定に対する自己責任を負う
- (7) 過去の履歴が残り、自分の資料として利用できる
- (8) 文章表現の訓練になる
- (9) 自己の価値観が固まっていく
- (10) 自己確立につながる

教員に対しては以下のことが期待される。

- (1) 学生の人間性や能力の状況やその成長過程がわかる。
- (2) 表面的な学生の言動からは判らないことが分かる可能性がある。
- (3) 一方的だが学生とのコミュニケーションの一形態と見る事ができる
- (4) 教員にとって捉えどころのない表現力のない、おとなしい学生を理解する一つの手法となる
- (5) 学生全体の状況を把握でき、クラスの指導に役立つ
- (6) 学生生活上の指導のための資料となる。

4. アンケート結果

アンケートの回収率は、2003年実施のときは、2002年入

アンケート記入方式による自己確立を目指した学生生活記録の作成

学生（2年次生）82%，2001年入学生（3年次生）98%，2004年実施の時は、2002年入学生（3年次生）81%，2001年入学生（4年次生）65%である。4年次生のアンケートは就職活動や卒業研究と重なり回収が良くなかった。

各質問項目にたいして自由記述したものを内容的に分類した。以下に、質問毎に結果を示す。

4.1 入学時の目標

2001年、2002年入学生が入学時に設定した目標を分類したものを表1に示す。また、以降の表中のA501は2001年入学生、A502は2002年入学生を表している。

学生の記入した目標を14項目に分類したが、2001年入学生は「将来に向け専門知識を修得する」が74%を占め圧倒的に多いが、次いでかなり少なくなるが「人間形成」「勉強すること」「サークル・課外活動」などそれぞれ7%が

続いている。2002年入学生は「サークル・課外活動」「勉強すること」がそれぞれ26%で、次いで「将来に向け専門知識を修得する」「アルバイト」がそれぞれ13%で続いている。2001年入学生と2002年入学生との間には大きな違いがある。2002年入学生は「将来に向け専門知識を修得する」が激減している一方、「勉強すること」「サークル・課外活動」「アルバイト」「友達づくり」が増加している。2002年入学生は勉強以外の面で目標を設定している割合が増加していることがわかる。この違いが生じた理由は、学生の意識の違いがそのまま現れたと考えているが、2001年入学生は3年次の時に2年前の入学時のことを質問しているので、記憶に曖昧な部分がある事によるかもしれない。

4.2 入学後1年間の学生生活の評価（2002年入学生）

2年次の時の質問に対して、表2に示す結果となった。

表1 入学時の目標

Q 入学時の目標	A501 計95名		A502 計92名	
	意見事例	意見数	意見事例	意見数
a 勉強すること	講義の内容についていけるように予習・復習をする	6	何事にも懸命に頑張ろうと思っていた。講義には毎日出ようと思った。講義で学んだことを全て自分のものにするため予習・復習をしようと思った。	23
b 勉学に遅れないように、留年しないように	留年せず卒業する	3	周りの人に遅れないようにと復習をと考えていました。	9
c 好成绩、単位の修得	成績に関してはトップ10には入りたいと思いました。	3	勉学は、全て単位を取り、いい成績をもらえるように頑張ろうと思っていた	9
d 将来に向け専門知識を修得する	建築学についての専門知識を多く身につける。4年間で卒業して就職する	70	建築についての基礎的専門知識を身につける	12
e 大学院の進学をめざす	他大学の大学院への進学	2		0
f やりたいことを探す	やりたいことを見つける	3		0
g 人間形成	私は小さい時から積極性に欠けていたのと、初対面が大変弱かったので、大学では、積極的に行動し、初対面を克服できるようにする事です。	7	色々な意味で自分を高めたいと思っていた。	2
h 自立した生活	親から離れ、1人暮らしをして自立する事	3	高校までの生活とは違い自立した生活を送ろうと思っていました。	7
i 友達づくり	友達を多く作り人脈を広げる事。	1	大学には地元の人以外にも地方から多くの人が入学してくるので自分とは全く考え方の違う人が多いと思い、その人達と仲良くなり意見を言い合っ自分にないものを取り入れたいと思っていた	9
j サークル、課外活動	勉強と部活を両立するという事を目標としていた	6	クラブと勉強を両立させて充実した学生生活を送ろうと考えていました	24
k アルバイト		0	バイトも社会勉強の1つだと思い、したいと思っていました	12
l 楽しく充実した生活		0	遊びも勉強も充実した学生生活を送りたいと考えていました。	9
m 目標は特にない	特に何も目標は無い	1	自分は大学に入学した最初の頃はまだ大学生活をどのようにして送りたいとは考えていませんでした	4
n 記載なし		2		6

表2 入学後1年間の学生生活の評価(2002年入学生)

A, B, C は, 1年次での修得単位数でグルーピングしたものの

Q 入学後一年間の学生生活の評価 (A502 学生)		意見事例 [] 内数字: 1年次での修得単位数	A 50 以上	B 40 ~ 50	C 40 未 満	計
			58 名	25 名	10 名	93 名
		意見数				
勉学面	プラス評価	勉強も毎日少しずつすることで, テスト前に焦ることなく充実した結果が得られました。[54]	12	2	0	14
	どちらとも言えない	勉強の方が少しおろそかになった部分もあったけれど, 目標通りにだいたいできた [48]	14	2	1	17
	マイナス評価	コース選択は希望のコースになれたが, 勉強はテストのための勉強になってしまい, テストの後に忘れる事が多かった [54]	21	7	7	35
サークル・課外活動	プラス評価	サークルだけは有意義に過ごせました。[40]	4	3	1	8
	どちらとも言えない	部活ではそこそこの記録を残せているけど, もっと活動的にして欲しかった。[44]	0	1	0	1
	マイナス評価	実際のこの1年間は自分が入学直後に考えていた1年間とは大きく異なりました。まず, バスケ部はバイトと兼ねていたため練習を休みがちになり, 去年の6月前に辞めてしまいました。[54]	3	0	1	4
生活全般	プラス評価	自分自身とても充実していて, 大学に入って良かったと実感しています。[46]	5	5	0	10
	どちらとも言えない	思ったより1年の時は時間があるようではなかった気がしました。キーポイントは春休みとか夏休みの過ごし方がポイントだった [48]	4	2	0	6
	マイナス評価	自分に甘い1年間だったような気がします。はっきりいうと怠けていました [38]	6	3	1	10
無回答			1	4	1	6

この表の中で, 1年次の時の修得単位数によって3つのグループ(A, B, C)に分けて示している。なお, 自由記述のため複数回答があり各項目の意見数総数は回答数と一致しない。

表2から以下のことが分かる。

勉学面は学生の70%の意見があったが, マイナス評価が50%, プラス評価が15%である。

サークル・課外活動面は, 意見数が少なく14%しかないが, プラス評価が多い。

生活全般に対して28%の意見数があるが, プラス, マイナス評価がほぼ同程度である。

これらと修得単位数との関係は, 単位数の少ない学生は, 勉強面ではマイナス評価をする割合が大きい, 単位数の多い学生もマイナス評価が4割近くいる。後者には, 本質的な面でのマイナス評価がある。一方, サークル・課外活動面では, 数は少ないが, プラス評価が多い。生活全般では単位修得数は関係なさそうである。

4.3 この1年の目標(勉学について)

前年度についての自己分析を基に, この1年の目標を設

定した結果を表3に示す。

2002年入学生が2年次の時, 「自宅学習・授業以外の学習を頑張る」が28%, 「知識を増やす, 理解を深める, 力をつける」が24%, 「特定科目や技術を修得する」が20%, あとは「単位取得」13%となるが, 3年次になると, 「受講態度をきちんとする, 遅刻しない, 集中して聞く」が39%と増加し, 次いで「知識を増やす, 理解を深める, 力をつける」が32%, 「単位取得」が14%と続いている。このように, 3年になるとある程度単位も取得できてきて, 今度は勉強の質や意味などに関心が向いてきている。

2001年入学生が3年次の時は「知識を増やす, 理解を深める, 力をつける」が38%, 「受講態度をきちんとする, 遅刻しない, 集中して聞く」が17%, 「知識を増やす, 理解を深める, 力をつける」, 「単位取得」が14%と続いている。これは, 2002年入学生の3年次の時の結果と似ていて, 勉強の質や意味に関心を持っている。4年次になると要卒単位数も足りて, 就職や大学院進学を意識した考えから, 「知識を増やす, 理解を深める, 力をつける」が50%と最も多く, 次いで「特定科目や技術を修得する」が20%が続

表3 この1年間の目標（勉学について）

A, B, Cは、各年次での修得単位数でグルーピングしたものの

Q 目標（教養・専門）について	A502/2 年次				A502/3 年次				A501/3 年次				A501/4 年次						
	意見事例	A 50 以上	B 40 ～ 50	C 40 未 満	計	意見事例	A 100 以上	B 80 ～ 100	C 80 未 満	計	意見事例	A 100 以上	B 80 ～ 100	C 80 未 満	計	意見事例	A 120 以上	B 100 ～ 120	計
		[] 内数字：1年次での修得単位数	58 名	25 名			10 名	93 名	[] 内数字：2年次迄の修得単位数			53 名	25 名	11 名			89 名	[] 内数字：2年次迄の修得単位数	
	意見数				意見数				意見数				意見数						
a	前年以上にがんばる	1年生の時よりもっと頑張ろうと思っています。[46]	3	4	1	8	2年の時よりも更に頑張りたい。[102]	1	0	0	1	0	0	0	0		0	0	0
b	遅れた部分を取り戻す	1年の時を取り戻すつもりで人の何倍も頑張ろうと思う。[25]	0	0	4	4	1, 2年で取りこぼした授業を取り直したい。[94]	0	1	0	1	2	0	0	2	1～3年の時、DやEだった教科はできるだけ授業を受ける。[111]	1	1	2
c	特定科目や技術を修得する	2年生になると専門的な事も増えてくるので遅れないように勉強していきたいです。特に力学はさらに難しくなりそうなので頑張りたいです。[48]	10	5	0	15	3年では構造科目を集中して勉強したい。[108]	4	1	0	5	9	3	1	13	苦手な英語を勉強する。卒業に必要な単位は卒業研究だけが自由科目の科学技術英語Cも受ける。[163]	10	2	12
d	知識を増やす、理解を深める、力をつける	毎回の講義の復習を行い、内容をその場しのぎの知識とせず、いつまでも引き出せるように身につける努力をしたいと思います [50]	14	4		18	テストの為の勉強ではなく、自分の知識を身につけるための勉強をしようと思います。[110]	17	3	3	23	28	4	4	36	単位はあるけれど、これからの就職した時とくに、必要になっていく科目もきちんと勉強していく。[151]	28	2	30
e	受講態度をきちんとする。遅刻しない、集中して聴く	2年生になって、1年生とは違って授業も大変になった事を実感した。集中力を持って、真剣に取り組もうと思う [52]	3	0	1	4	常に集中する事。今まではどこか集中しきれしていないところがあった。[94]	17	6	5	28	11	4	1	16	受講したものは最後までやっていきたい [165]	6	0	6
f	興味を持つ、楽しむ	2年になって製図とかも始まって勉強内容もより専門的になってきたので、自分でやりたくて来たんだし楽しんで頑張ろうと思う。[52]	4	0	0	4	興味の有無によって授業への関心が変わる性格があるので、どの科目も大事であるという自覚を持って講義に臨みたい。[104]	2	0	0	2	1	1	0	2		0	0	0
g	積極的な姿勢で臨む	建築専門の勉強が始まるという事で、今まで以上に講義内容の理解に努力し、当然分らないことも出て来ると思うので、先生に今までより積極的に質問して理解できるようにしていきたいと思っています。[56]	2	0	0	2	ただ授業に出るだけの受け身の姿勢ではなく自分から学ぼうとする態度で臨みたい。[66]	2	1	1	4	9	0	0	9	色々なことをプラスと考え、学んでいきたい。[139]	1	0	1
h	自宅学習、授業以外の学習をがんばる	復習や予習はする。関係のある本・資料や教科書などたくさん読みたい。自ら進んで取組んでいきたい [50]	17	2	2	21	今まで通りではついていけないと思うので家で勉強時間を増やそうと思います [110]	7	0	1	8	6	1	0	7	授業だけではなく、他の本や参考書などを読み理解する。[137]	4	0	4
i	単位取得	単位は全部とって、1年生の時と合わせて100単位以上すること [50]	4	5	1	10	単位が取れるよう頑張りたいです。[88]	5	4	1	10	6	5	2	13	卒業まで170単位を目標とする [147]	4	2	6
j	いい成績を取る	全科目B以下は取らないようにがんばる!! もちろん目標は@!! [50]	5	1	0	6	どの科目も良い成績を取るために最大限努力する。[98]	0	1	0	1	2	3	2	7		0	0	0
k	資格取得	資格を積極的に取っていきたい。[50]	3	1	0	4		0	0	0	0	1	0	0	1	これからも、受験する事ができるものがあれば受けていこうと思う。[112]	2	0	2
l	就職、進学のための勉強		0	0	0	0						2	0	0	2	とにかく就職優先で、時間を見つけて勉強して行きたいと思う。[165]	1	0	1
m	卒業研究をがんばる		0	0	0	0								0	卒業研究を納得いくものにする [137]	8	0	8	
n	無回答		3	9	5	17		3	9	5	17	2	0	0	2		25	7	32

アンケート記入方式による自己確立を目指した学生生活記録の作成

いている。

なお、修得単位数の少ない学生は、2年次の時は「前年以上に頑張る」「遅れた部分を取り戻す」「単位取得」が多い。3年次になると「受講態度をきちんとする、遅刻しない、集中して聞く」「知識を増やす、理解を深める、力をつける」「単位取得」「特定科目や技術を修得する」が多く、受講の仕方の反省や不得意科目の勉強の必要性、単位取得の必要性が表れている。4年次は単位数が少ない学生が少ない。

また、単位数の多い学生は、2年次は、「自宅学習・授業以外の学習を頑張る」「知識を増やす、理解を深める、力をつける」「特定科目や技術を修得する」が多く、更なる学習意欲を示している。3年次は「知識を増やす、理解を深める、力をつける」が多いのは変わらないが、2年次に多かった「自宅学習・授業以外の学習を頑張る」が減少し、一方、2年次に少なかった「受講態度をきちんとする、遅刻しない、集中して聞く」が増加している。受講態度の反省が単位数の多い学生にも出てきていることは、単位取得を目的とする勉強ではいけないという自覚が表れたと思われる。

4.4 この1年の目標（勉学以外について）

表4に勉学以外の目標を項目別に分類して表3と同様な形式で示す。

2002年入学生が2年次の時、「サークル、クラブをする」が35%、「アルバイトをする」が21%、あとは「具体的にはないが、何かをやっていききたい」が13%である。3年次になると「具体的にはないが、何かをやっていききたい」が26%と増え、「サークル、クラブをする」は25%と若干減少する。更に、「インターンシップに行く」が14%と増加し、「アルバイトをする」が10%となりかなり減少している。3年次になると就職を意識してインターンシップが増えたことや、また、何かをした方が良いという意識が生まれたものと思われる。その分、アルバイトやサークルが減少している。

2001年入学生が3年次の時、「サークル、クラブをする」が33%で特に多く、次いで「具体的にはないが、何かをやっていききたい」が17%で続いているが、「インターンシップに行く」は8%と少ない。2002年入学生の3年次と比較すると、「サークル、クラブをする」「具体的にはないが、何かをやっていききたい」が他の項目に比べ多いことは同様であるが、2002年入学生にはなかった「就職活動」が8%程あり、「ボランティアをする」が若干増えているのが特徴的である。概して、2001年入学生はサークル、ゼミ、就職などの活動を行い意欲的であり、活性化した状況が窺える。4年次は依然として「サークル、クラブをする」が29%あり、最後までサークル活動を続ける意志があるよう

である。また、当然「ゼミ活動」が24%と多い。

修得単位数の少ない学生については、2002年入学生は2年次では「アルバイトをする」「サークル、クラブをする」が多いが、3年次でも同様である。2001年入学生も3年次では同様であるが、その他に「具体的にはないが、何かをやっていききたい」がいることが意欲的な表れと思われる。

修得単位数の多い学生については2002年入学生は2年次では「サークル、クラブをする」が多く、次いで「アルバイトをする」「具体的にはないが、何かをやっていききたい」が続いている。単位に余裕があるため、勉学以外に何かやってみたくと思う学生がいるものと思う。3年次では「具体的にはないが、何かをやっていききたい」「サークル、クラブをする」が多く、サークル以外の活動に関心を持っている。この傾向は2001年入学生の3年次でも同様である。4年次はサークル以外に「ゼミ活動」「就職活動」が多いのは、卒業研究、就職に伴うものである。

4.5 自信のある事（3年次、4年次）

これも、表3、4と同じ形式で表5に示す。これより、自信がない、記載ないを合わせて35%程度であり、比較的多くの学生が自信がある事を記載している。

3年次に対して、2002年入学生は「目標に向けて努力する、諦めない、根性」が28%、次いで「専門的な知識、技術」が15%、「友人、人間関係」が13%ある。2001年入学生は「専門的な知識、技術」が28%で最も多く、次いで「目標に向けて努力する、諦めない、根性」が20%、「積極性、前向き、探求心、意欲、行動力」が13%と続いている。このように、2001年入学生は勉学の「専門的な知識、技術」が最も多くなったが、2002年入学生は性格面の「目標に向けて努力する、諦めない、根性」が最も多くなり、この違いには学力の差が表れているものと考えられる。

2001年入学生が4年次の時は「目標に向けて努力する、諦めない、根性」が27%、「専門的な知識、技術」が20%、「積極性、前向き、探求心、意欲、行動力」が18%となっており、「専門的な知識、技術」が減少しているものの大きな変化はない。

単位数の少ない学生については、2002年入学生は性格面の「目標に向けて努力する、諦めない、根性」「友人、人間関係」や「自信ない」という項目が多いが、2001年入学生は自信がない学生もいるが、「専門的な知識、技術」に自信を持つ学生もいることが大きな違いである。

単位数の多い学生については、2002年入学生は「目標に向けて努力する、諦めない、根性」が29%が多いが、2001年入学生は「専門的な知識、技術」が35%と多く、両者の違いが鮮明である。

4.6 心配・不安（3年次、4年次）

これも同様に表6に示す。

表4 この1年間の目標（勉学以外について）

A, B, Cは、各年次での修得単位数でグルーピングしたものの

Q 目標（教養・専門）について	A502/2 年次				A502/3 年次				A501/3 年次				A501/4 年次							
	意見事例 [] 内数字：1年次での修得単位数	A 50 以上	B 40 ～ 50	C 40 未 満	計	意見事例 [] 内数字：2年次での修得単位数	A 100 以上	B 80 ～ 100	C 80 未 満	計	意見事例 [] 内数字：2年次での修得単位数	A 100 以上	B 80 ～ 100	C 80 未 満	計	意見事例 [] 内数字：3年次での修得単位数	A 120 以上	B 100 ～ 120	計	
		58 名	25 名	10 名	93 名		53 名	25 名	11 名	89 名		66 名	21 名	9 名	96 名		80 名	12 名	92 名	
		意見数					意見数					意見数					意見数			
a	アルバイトをする	アルバイトを通して人付き合いなどを学びたいです。[48]	12	5	0	17	バイトから学ぶ事が多いので最大限利用し、また、人脈も広げていけたら良いと思います。[106]	4	2	1	7	好きな事をしつつ、今短期のバイトをしているので、これからもどんどんいろんなバイトをしていろんな体験をしたい。[80]	2	2	1	5		0	0	0
b	サークル、クラブをする	バスケットボール部で県ベスト3になるよう頑張っていきたい。[50]	16	9	3	28	サークルの主将なので、新人生を引っ張って行きたいです。[88]	11	4	3	18	部活が今年の冬で引退なので、これでバスケットボールと関わるのが最後になるかもしれないので悔いの残らないように頑張りたい [112]	25	3	3	31	硬式野球部。自分自身、最後のリーグで野球人生も多分これで終わりなので、悔いが残らない様に全力でやって優勝して終わりたい。[143]	15	2	17
c	旅行等趣味のこ	旅行をして様々な建物を見てまわろうかと考えています [46]	5	2	1	8	英会話に行くようになった [92]	0	1	0	1	スポーツをする。[92]	1	1	0	2	就職活動が落ち着いたら、建築物めぐりをしたいと思っています。[163]	2	0	2
d	ボランティアをす	何か機会があればボランティア活動などにもしてみたいと思っています。[50]	3	0	1	4	今年は自分に余裕があればボランティア活動にも手を伸ばしていければいいと思っています。[80]	2	2	0	4	何かボランティアをしたい。色々な世代や、色々な生活環境の人の意見を聞いて自分の見識を深めたい [112]	6	3	0	9	ボランティアに参加することは続ける。また、年代の違う参加者との交流を深める [165]	6	0	6
e	健康、体力づくり	健康を考えて休みの日にも体を動かしたい [54]	5	0	0	5	怪我が多かったので、あまり活動できませんでした。体調管理など、身体に気をつけて頑張りたい。[112]	1	0	0	1	社会に出たら体力も必要だと思うので体力づくりをする。[96]	4	1	0	5	体を鍛える [163]	2	0	2
f	役員をがんばる	役員に選ばれたので協力できるよう頑張りたいです。[52]	1	0	0	1	今回は、クラス委員も勤めさしてもらったが、理由もなくやるわけではありません。クラスを引っ張る人間がいれば、クラスにまとまり、積極性が出て、より面白く、学びやすい、生活し易い学校になると思う。[118]	1	0	0	1	現在クラス委員をやっているので、今よりもっと他人に気を使い、人に分かり易く説明できるように精進していきたいと思います [106]	1	0	0	1	去年と同様に今年も、副ゼミ長、広士会役員、自治委員などの役職をやらせていただいているので、責任を持って、仕事をしようと思っています。また、自分の意見ばかりではなく、相手の意見も一層、耳を傾けていきたいと思っています。[137]	3	0	3
g	インターンシップに行く	インターンシップにも参加したいと思っています [52]	1	0	0	1	インターンシップ制とオープンデスク制を活用してみたい。[112]	8	1	1	10	インターンシップ制度を利用、実際の職場を体験したいと思う。[72]	6	1	1	8		0	0	0
h	資格取得		0	0	0	0	何か資格を取得しようと思う。[108]	4	0	0	4	意味のある資格取得について努力していきたいと思っています [112]	3	0	0	3	とにかく資格取得を目指す [159]	3	0	3
i	学生にしかできないことをする	今しかできない事をどんどん挑戦していきたい。[46]	1	1	1	3		0	0	0	0	今しかできない事をする [103]	2	0	0	2	最終学年なので、学生であるうちにできることを楽しみ、学習し、一生に残る思い出を作っていきたいと思っています。[137]	4	0	4
j	ゼミ活動	0	0	0	0	0		0	0	0	0	講演会に進んで出席するようになりたい [110]	2	0	0	2	色んなことに取組む。ゼミ活動を頑張る。[133]	13	1	14
k	就職活動	0	0	0	0	0		0	0	0	0	これからの就職についての情報を少しずつ集めていきたいと思う [110]	5	1	2	8	やはり就職活動に力を入れたい。妥協せず自分の納得するよう頑張りたい。[147]	7	1	8
l	具体的にはないが、何かをやりたい	何かやりたいと思っているけどまだはっきり見つけていないです。将来自分に役立つようなものを見つけたいです。[52]	8	1	1	10	今まで積極的に課外活動をした事がないので、これからたくさんの事に参加したりしてみようと思います。[108]	17	1	1	19	履歴書に書けるような事をしようと思う [95]	11	4	1	16	今現在は特に考えられないが、これから1年間という過程の中でやれる事を見つければ、積極的に取り組めるようにしたい。[116]	1	1	2
m	学業を優先させたい	バイトをしているので、それが生活の中心にならないように気をつけたい。[54]	2	0	0	2	学校の方を優先しなければならぬので、支障が出るならばバイトなどは減らすようにする。[62]	0	1	2	3	アルバイトなど、勉強に支障を来すようなもの避ける [106]	2	2	0	4		0	0	0
n	特になし		3	2	2	7		1	3	0	4		2	4	1	7		1	0	1
o	無回答		5	7	1	13		3	9	3	15		1	0	0	1		26	7	33

アンケート記入方式による自己確立を目指した学生生活記録の作成

表5 自信のあること

A, B, Cは、各年次での修得単位数でグルーピングしたものと

Q 自信のあること	A502/3年次				A501/3年次				A501/4年次					
	意見事例 []内数字：2年次迄の修得単位数	A 100 以上	B 80 ～ 100	C 80 未 満	計	意見事例 []内数字：2年次迄の修得単位数	A 100 以上	B 80 ～ 100	C 80 未 満	計	意見事例 []内数字：3年次迄の修得単位数	A 120 以上	B 100 ～ 120	計
		53 名	25 名	11 名	89 名		66 名	21 名	9 名	96 名		80 名	12 名	92 名
意見数		意見数		意見数		意見数								
専門分野への興味関心	建築が好きであること [108]	1	0	0	1	私は、建築を学ぶために広島まで来たので、建築に対しての思いには自信があります [119]	2	1	0	3	“建築”に一生携わっていきたいと思う気持ち。[161]	6	0	6
専門的な知識、技術	力学関係には少しだけ自信があります。[108]	6	4	0	10	2年ぐらいから、構造系の勉強が面白くなりました。得意な科目と聞かれたら今は構造系だと思わず少し自信があります。[114]	21	0	4	25	多少ではあるが勉強に自信あり。実験の色々な知識あり。[139]	10	1	11
受講状況	授業を休まず受けていること [108]	6	1	0	7	授業で、口で説明された事をノートにメモする癖がついたこと [94]	0	1	1	2		0	0	0
性格面	目標に向けて努力する、あきらめない、根性	13	4	2	19	これといったものはないが、性格的には負けず嫌いで集中したらとことんやり遂げる [82]	11	6	1	18	いろいろな事に努力している自信はある [165]	15	0	15
	積極性、前向き、探求心、意欲、行動力	6	1	0	7	いろんな事に興味を持ち、自分自身を高めてくれるというものに出会えるよう、いろんな事にチャレンジしていく積極性です [108]	6	6	0	12	何事にも前向きに取り組む姿勢 [147]	9	1	10
	まじめ、几帳面、責任感、優しい	2	0	0	2	自分は責任感がある方だと思う [104]	2	2	0	4	真面目さ [114]	2	1	3
目標設定、判断力		0	0	0	0		0	0	0	0	「今、自分がしなければならぬ事」「相手が何を考えているか」など「考えて、判断して、行動する」という、社会人において最も重要な事 [137]	5	1	6
友人、人間関係	誰とでもコミュニケーションを取れる事、協力を出来ること。 [112]	3	2	4	9	グループの先頭に立って、班でもチームでもまとめる事が自分としては好きであり、そこが自分の売りである [116]	5	1	0	6	人と人とのつながり、人脈 [151]	5	1	6
サークル、課外活動	クラブを続けている事 [116]	4	0	0	4	サークル活動のアカベラの演奏（企画・運営などの裏方とか・・・ボランティア活動） [76]	2	0	1	3	サークルで3年間やってきたアカベラ活動（演技、イベント企画、運営 etc） [109]	0	1	1
体力	体力 [106]	2	1	0	3	野球、体を動かす事、体力、健康 [104]	6	2	0	8	体力に自信があります [127]	4	0	4
無し	自分に自信がありません [94]	5	2	3	10	今はまだ自信はありません。これから自信をつけていくように頑張る自信はあります [116]	14	10	3	27	今自信のある事がないが、卒業までに1つは自信を持てるようにしたい [133]	4	1	5
無回答		8	11	3	22		6	0	0	6		29	7	36

3年次では、2002年入学生は「進路に関して」が57%で最も多いが、「特になし」が20%で比較的多い。2001年入学生は「進路に関して」が74%で最も多く、次いで「経済面での問題に関して」「勉学に関して」が17%と続いており、「特になし」は少ない。

2001年入学生の4年次では、圧倒的に「進路に関して」が78%が多い。就職や大学院進学についてが主である。

単位数が少ない学生に対しては、2002年入学生、2001年入学生共に「進路に関して」「勉学に関して」が多いが当然の結果である。

単位数が多い学生は「進路に関して」が2002年入学生、2001年入学生共に多い。更に、2001年入学生は「勉学に関して」、「人間的成長に関して」が若干多い。

4.7 4年次生のアンケートに対する意見

表7に、アンケートが自己確立に効果があるかについての意見を示す。回答数55人の内、効果があると思う意見は39件（71%）あり、かなりの学生が有効性を認めている。

理由として、

- (1) 目標の達成のために自分に厳しくする。
- (2) 自分の考え方の時間的経緯がわかる。
- (3) 文章化する事で考えが明確になる。
- (4) 客観的な立場から自分を捕らえられる。

その他、条件付で有効性を認めているのが15%ある。すなわち、

- (1) 何も考えずに生きている人には無意味。
- (2) アンケートの事を忘れていた場合は役に立たない

また、効果がないというのは15%ある。理由は

- (1) 目標は自分で立てるもので、アンケートで問われて答えるものでもないから、自己確立につながると思えない。
- (2) 心配・不安な事は、返事提案してくれなければ何も意味はない。

アンケート記入方式による自己確立を目指した学生生活記録の作成

表6 心配、不安なこと

A, B, Cは、各年次での修得単位数でグルーピングしたもの

Q 心配・不安	A502/3 年次				A501/3 年次				A501/4 年次					
	意見事例 [] 内数字：2年次迄の修得単位数	A 100 以上	B 80 ～ 100	C 80 未 満	計	意見事例 [] 内数字：2年次迄の修得単位数	A 100 以上	B 80 ～ 100	C 80 未 満	計	意見事例 [] 内数字：3年次迄の修得単位数	A 120 以上	B 100 ～ 120	計
		53 名	25 名	11 名	89 名		66 名	21 名	9 名	96 名		80 名	12 名	92 名
意見数				意見数				意見数						
勉学に関して	卒業の事で不安だし、単位の事、勉強の仕方でも不安です。[68]	4	2	2	8	講義だけの勉強をしても大丈夫なのか。資料を買ったりして他に勉強をすべきか。[114]	9	3	3	15	卒研が巧く進められるか。[137]	4	1	5
生活管理に関して	私生活がだらけている事。[114]	2	0	0	2	3年生になって急に忙しくなったので部活と両立できるか心配。[106]	2	0	0	2	やりたい事、やる事が多くて不安。[151]	1	0	1
経済面での問題に関して	通学の事で金銭的に少し苦しい。[98]	0	1	0	1	奨学金。… [89]	9	4	3	16	経済面です。大学院へ進学したいと考えているので、これから3年間どのように親から経済的に自立しようか悩んでいます。[155]	1	0	1
健康面での問題に関して	太って成人病について不安です。それと字が汚い事。[114]	2	0	0	2		0	0	0	0	自分の体調 [109]	0	1	1
精神面での問題に関して	人見知りな性格なため、無口になりがちなので直したいが、なかなか直らない。[100]	2	0	0	2	自分は、相当鬱の状態がある。人といると鬱の状態が多いかもしれない。興味の幅を広げる事が、人間性を広める事だと思うから頑張ろうと思う。[110]	1	0	0	1		0	0	0
人間的成長に関して		0	0	0	0	まだ、自信のある事や自慢できる事がないので少し不安です。[108]	5	1	0	6	何に対しても感想が言いえない。[151]	1	0	1
進路に関して	何をやるべきなのか？また自分に向いている仕事。[108]	23	6	6	35	自分が将来何をしたいかが、まだ完全にはっきりしていないのでこの先どうなるかが不安。[96]	45	16	6	67	今は就職できるかどうか最不安です。あと、実社会に出たとき、自分の知識で仕事が出来るとどうかも不安です。[163]	40	2	42
特になし	特にありません。[106]	10	1	1	12	特に無し [110]	2	0	0	2	特にないです。[163]	5	1	6
無回答		10	15	3	28		4	0	1	5		30	8	3

表7 アンケートに対する意見（4年次生）

効果があると思う 39件
・アンケートにより自分の考えを再確認する事ができるから、自己の確立に有効だと思う。目標を達成するために自分に厳しく接していきける
・少なからず、自分が現在どういう位置にいて、何を指すのかを認識できるのではないと思う
・昨年の自分の考えを見る事によって、こんな事を考えていたのかとか、ここは目標が達成できたなとかを考える事が出来ました。結構いい事だと思う。
・気持ち、考えを文章にする事によって明確にすることができたと思う。大学に入った時からあれば、もっと早く自分を見つめ、就職や将来について考える時間が増えたかもしれない
・今の自分と、2、3年前の自分が持っている考え方がどう違っているのかということや、1、2年前の自分を思い出す事によって今の自分に対して、客観的な立場から捕らえことができるので、いいことだとも思います。また、卒業の時にも配って欲しいと思います
有効であるがやり方によって効果がないこともある 8件
・自己の確立は本当の自分を知るという意味で役に立つ。しかし、何も考えずに生きている人間には無意味だ。大学で遊びまわっている人間に対しては必要はない。
・有効だとは思うが、昨年アンケートをしていた事自体を忘れていたので、自分には役に立ってなかったと思う
効果はない 8件
・自分の目標は自分でたてるもの、人から問われて答えるものでもないと思うし、自分の目標、やりたい方など意思表示するのも自分であると思う。だから、これを書いたからといって自己確立につながるとは思わない。逆にどういう風に目標を立てていったらよいかを教えてもらえたらと思う
・目標を立ててもなかなか上手く実行できなかった
・心配な事、不安な事に関する返事提案というのが全く無かった気がする。それでは何も意味がないと思う。返事をいただかないと学生達には意味ないことだと思います。
記載無し 42件

5. あ と が き

提案したアンケートは自己確立を目指したものである。過ごしてきた学生生活を学生が振り返った時に、過去の学生生活をどう捉えたら良いか分からない学生が多く見られるが、これは学生生活の実体が与えられるのを待つ、与えられたことを只いわれるままに行動する、無目的に時間を過ごす等ということが原因ではないかと思われる。今回のアンケートで、自分の設定した目標とそれに対する自己分析、さらに次の目標設定という流れの中で、建設的な考えが生まれ成長していく学生が少なからずいたことが分かった。学生からのアンケート実施に対する反応も好意的であった。

今回は、アンケート形式で実施したことが特徴の1つとしてある。自己評価は、本来、自発的、能動的行為であるべきものであるが、アンケートへの記入は受動的なものである。しかしながら、設問に回答する形式で自己を振り返

る今回の手法は、本人に成長や自己改革への問題意識がそれほど無い状況においても、学生は容易に記入していく事ができ、主体性そのものの育成を目指した場合には、このようなアンケート形式が効果をもたらすと考えられる。

学生が自発的に自分の人生設計を自分で計画していくのが好ましいと思われるが、現状はまだそのような事ができない学生が多い。社会人として順応できる能力を大学時代に身につけさせる事を要望されている現在、短時間で成果が出るものでなく、4年という時間で一步一步積み上げていくシステムが必要である。

本報告では、学生への効果という視点から分析を行ったが、指導に当たる教員から見た場合、学生の学習へのモチベーション等、様々な情報の把握ができることから、個々の学生の状況に合わせたきめの細かい指導が可能になるという点で、一定の効果が期待出来る。

今回提案したアンケート形式のシステムは多くの点で効果が期待できるものと考えている。